

# タツプ、ほめる。 シツカリしかる。



## 教育のページ

分かれて学生と一緒に授業を受けました。また、福島大学学友会の学生から、大学生活について説明を受けたり、キャンパスツアーをするなど大学生活の体験をしました。生徒たちからは、「大学生は難しい勉強をしていて、とても大変そうです。」「大学で専門的に学ぶことはとても興味があります。」「自由には責任が伴うということが分かりました。」「など、大学生活に関心を示していました。生徒たちは、福島大学一日体験入学を通じて、それぞれの進路選択に向けた気持ちを、また新たにしようです。

### 11/26 飯館中学校生が 福島大学に1日体験入学

キャリア教育の一環として、飯館中学校3年生全員が福島大学に1日体験入学をしました。生徒一人一人が「生きる力」を身につけ、社会人・職業人としてしっかりとした勤労観・職業観を持って、主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成することを目的としています。

生徒たちは、福島大学の塩谷弘康教授や境野健児特任教授から福島大学の概要について説明を受けた後、五班に



▲大学生から説明を受けた学内ツアー

▼大学生と一緒に授業を受ける中学生



### 母親の愛 その2

#### 子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

母親がわが子に与える最初の愛情は、お乳を与えること、つまり授乳です。授乳には二つの意味があります。一つは身体的な栄養を与えること、もう一つは心の栄養を授けることです。授乳は、身体的な栄養として身体発達に必要な栄養分を与えて体の成長を促します。授乳は母乳が原則ですが、母親の事情により、人工ミルクとの混合や人工ミルクのみの場合などがあります。が、どんな授乳でも母親が抱いて与えるのが大切です。母親の目を見つめながら飲むお乳によって、赤ん坊は安心してお腹を満ちします。赤ん坊はまったく無防備な存在です。それが、安心して満腹感を得られると、あたたかく思いやりの深い人間に育つと言われています。安心して気持ちよくお乳を飲んでる赤ん坊は必ず母親の目を見つめ、乳房に手を添え、或いは母親の手を握っています。このことで、赤ん坊は「基本的信頼感」(人を信じる気持ち)を培います。これが心の栄養です。その意味で、お乳、即ち食事は愛情の象徴(シンボル)です。飯館村の子どもたちの大多数が朝ご飯を食べて登校しているようです。母親の愛を得ている証拠です。

飯館中学校スクールカウンセラー  
海野 和夫  
社団法人国民保健会主任研究員  
学校心理士・家族心理士  
臨床心理士

○教育相談は飯館中学校 (☎42-0008) へ電話でお申込みください。

### 10/31 村内男女がパエリアづくり、テーブルコーディネートに挑戦

#### 女と男のやさしい関係づくり講座

いちばん館を会場に村主催の「女と男のやさしい関係づくり講座」が行われ、村内から14人の男女が参加しました。講座では、川俣町のスペイン料理レストラン「カサデサカ」を経営する伊波さんご夫妻を講師に迎え、男性がパエリアづくりを、女性がテーブルクロスの使用方や食器の並べ方などテーブルコーディネートを学びました。

参加者からは「夫も家でも料理をしてくれればいいのに」「夫のエプロン姿が」かっこいい」と言った感想が聞かれました。この講座は、男女がお互いに家事、育児、介護などの問題について共通の理解を深めることをねらって行われたものです。講座は来年2月まで4回行う予定です。



▲参加男性によるパエリアづくり



▲参加女性によるテーブルコーディネート

### 11/14 スポーツ通じて交流深める 「秋だよ！ 全員集合 うんどう会！」開催

村青年交流実行委員会(藤井慎悟委員長)が主催する「秋だよ！ 全員集合 うんどう会！」が飯館中学校体育館を会場に開催され、村内外から26人の独身男女が参加しました。

この運動会は、村内外の青年交流の場を作ろうと参加者を募り開催したものです。

参加者は2つのチームに分かれ、ソフトバレーボールやバスケットボール、綱引き、リレーといった団体競技を行いさわやかな汗を流しました。

参加者からは「チーム全体で盛り上がることができ、初対面の人とも仲良くなれた」との感想がありました。

競技終了後は、実行委員手づくりの豚汁、おにぎりを食べて交流を深めました。

実行委員会では、今後も青年交流の場をつくるイベントを行いたいとしています。



▶▶運動会のような様子